

## 平成 18 年 3 月 23 日 記者会見 会頭発言要旨

### 時事の話題

#### 春闘について

大手各社の回答状況をみると、業種や企業間で差がつく結果となっており、各社の状況に見合った賃金決定がなされたようだ。業績の良し悪しで賃金に差がつくのは当然のことであり、各社の業績に連動した一時金支給で対応する企業が、今後増えていくと思う。

#### 新卒採用状況について

景気回復に伴って、企業の採用意欲が高まり、新卒採用状況が改善されている。学生の就労意識も高まっており、社会問題となっている働かない若者が減少につながると期待している。

#### 京都の景況動向について

日本経済は、堅調な回復基調を維持している。内閣府が発表した昨年 10 12 月期の実質 GDP は年率 5.4% で、4 四半期連続のプラス成長となった。今回の発表で注目すべきは、GDP（需給）ギャップが 8 年ぶりにプラスに転じたことである。デフレ不況を脱し、これまで以上に強い景気回復が期待できるものと考えている。また、京都の景況についても、輸出の増加や個人消費の持ち直しの兆しが窺える。景気は総じて回復の見通しであり、今後も力強さを伴った回復が続くと思う。

#### 京都文化交流コンベンションビューローの設立について

3 月 22 日、京都文化交流コンベンションビューローの発起人会を開催し、私（村田会頭）が理事長に就任した。国内外の国際会議誘致や賓客などの入洛を促す事業や京都文化を広く世界に発信する事業に、精力的に取り組んでいきたい。

#### 第 5 回日米協会国際シンポジウムについて

4 月 21 日と 22 日の両日、京都日米協会主催の「第 5 回日米協会国際シンポジウム」が京都で開催される。米国からは全米各地の日米協会の関係者約 1 5 0 名のほか、駐日米国公使が出席される。また、日本側は全国日米協会連合会の大河原会長をはじめ、京都府知事、京都市長にも出席頂く予定。国立京都国際会館と京都市リサーチパークを会場に、稲盛名誉会頭による基調講演やパブリック・フォーラムなどを予定している。

## 京都商工会議所の動き

### 18年度本所事業計画（案）について

具体的な主要事業項目(案)をとりまとめた。「京都ブランドの推進」、「新産業創出のための産学公連携事業の推進」、「中小企業の振興」の3つを柱とし、会員企業の経営を支援し、迅速丁寧なサービスの提供に努めるための具体的な項目を盛り込んだ。中心市街地を核として都市の賑わいを創出し、経済が活性化していく好循環を作り上げることで美感都市につながるまちづくりを進めていく。

以上